

快適な縦走と花が楽しめる佐渡の尾根

金北山

きんぽくさん
1172.1m

山岳の特徴 付近の観光

佐渡島は沖を流れる対馬暖流の影響で、冬は暖かく、夏は涼しい。

そのため、1000m級の山では通常見られな高山植物が分布する

コースの難易度	危険度	体力度	日帰り
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
歩行時間: 7時間5分	歩行距離: 14.0km	累積標高差: +955m	



↑ 尻立山から金北山脈を望む。大佐渡山脈は春から秋にかけて季節の花が楽しめる
→ 高木帯とザレ場を交互に進み、ニセ天狗の休み場に着く

る珍しい種生をもっている。島北部に連なる大佐渡山脈一帯では300種以上の花が咲き、登山者の目を楽しませてくれる。

大佐渡山脈の主峰・金北山は島内最高峰であつて、その雄大な頂は新潟市内からも容易に指呼できる。この金北山を目指す登山道は数箇所あるが、高低差が比較的小なく、佐渡島の展望が楽しめる縦走コースを紹介しよう。

出発点のドンデン山荘までは両津港から車で約30分。山荘脇の道から入山し、尻立山を目指す。この辺り一帯は、春はレンゲツツ、初夏はシヤクナゲが咲き、ハマナスも見られる。

尻立山頂上に立つと草原的景観のドンデン高原をはじめ、金北山や金剛山などが一望できる。高原

一帯では牛が自然のままに放牧されている。牛の群れに遭遇することがあるので、驚かせないように行動しよう。

尻立山をあとにキャンプ場をすぎ、車道を5分ほど歩くと金北縦走路入口に着く。ここからマトネまでは展望のない樹林帯の中を進むが、季節の花々が散在するので会話にも華が咲く。

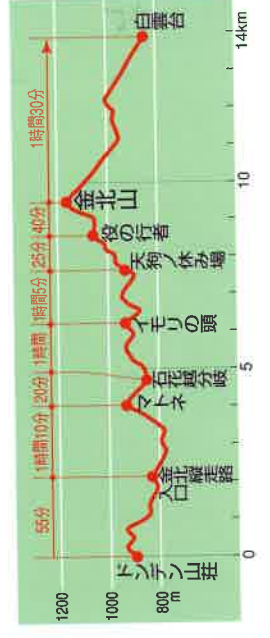
マトネ深次郎山に着くと前方の展望が開け、金北山、ジャバミや松倉山が見えてくる。小休止にしよう。

石花越分岐に下り、本格的な尾根歩きがはじまる。東に両津湾と加茂湖、西に外海府の海原を眺めながらの快適な縦走だ。ザレ場や高木帯を交互に進み、小刻みにアップダウンを繰り返しながら徐々に標高を上げていく。イモリの頭、天狗の休み場をすぎ、役の行者へ。

あやめ池をすぎると最後の登りに入る。アーンというリーダーチームのファン音が聞こえると、すぐに金北山頂上に着く。

山頂には金北神社とリーダードームが寄り添うように建っている。眺望はすばらしく、海を越えて、新潟県内はもとより、山形県

や富山県の主要な山々まで見わたせる。神社をあとに防衛管理道路を下ると白雲台に着く。(立山豊)



登山時期 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

チェックポイント



■登山シーズン 積雪期をのぞいて、春～秋のいつつでもよく、季節の花が楽しめる。特に春は山全体で花が楽しめる。山域全体で花が楽しめる。紅葉の時期もよい。

- ワンポイント・アドバイス
 - * 両津港から各登山口への路線バスはない。マイカーまたはタクシーを利用する。下山時のタクシーもあらかじめ手配しておきたい。
 - * 花のシーズン(4～6月)には各登山口へ季節運行バス(ライナーバス)がある。
 - * 問い合わせは新潟交通佐渡へ。
 - * ドンデン山荘は平成16年5月にオープンした佐渡市営の地域間交流施設。宿泊や食事、トレーニング情報の入手が可能。ボランティアウム設備もある。季節営業(4月下旬～11月上旬)のため、利用の際は事前に確認しよう。閉鎖期間中の問い合わせは佐渡観光総合案内所へ。
 - * ドンデン高原にはキャンプ場がある。問い合わせはドンデン山荘へ。
 - * 金北山～白雲台間の防衛管理道路を通行する場合は、事前に自衛隊への届出(電話連絡可)が必要である。
 - * 白雲台にある売店は季節営業である。
 - * 1泊2日コースとして、白雲台～金北山～ドンデン山荘(泊)～ドンデン高原～金剛山～白瀬登山口の行程もとれる。
- 問い合わせ
 - 佐渡市役所両津支所 ☎0259-27-2111、佐渡観光総合案内所 ☎0259-23-3300、ドンデン山荘 ☎0259-23-2161、佐渡汽船新潟総合案内所 ☎025-245-1234、新潟交通佐渡 ☎0259-52-3200、航空自衛隊佐渡分屯基地 ☎0259-63-4111
- 2万5000円 両津北部・金北山